



2011・国際森林年

# 2011国際森林年 取り組みご紹介

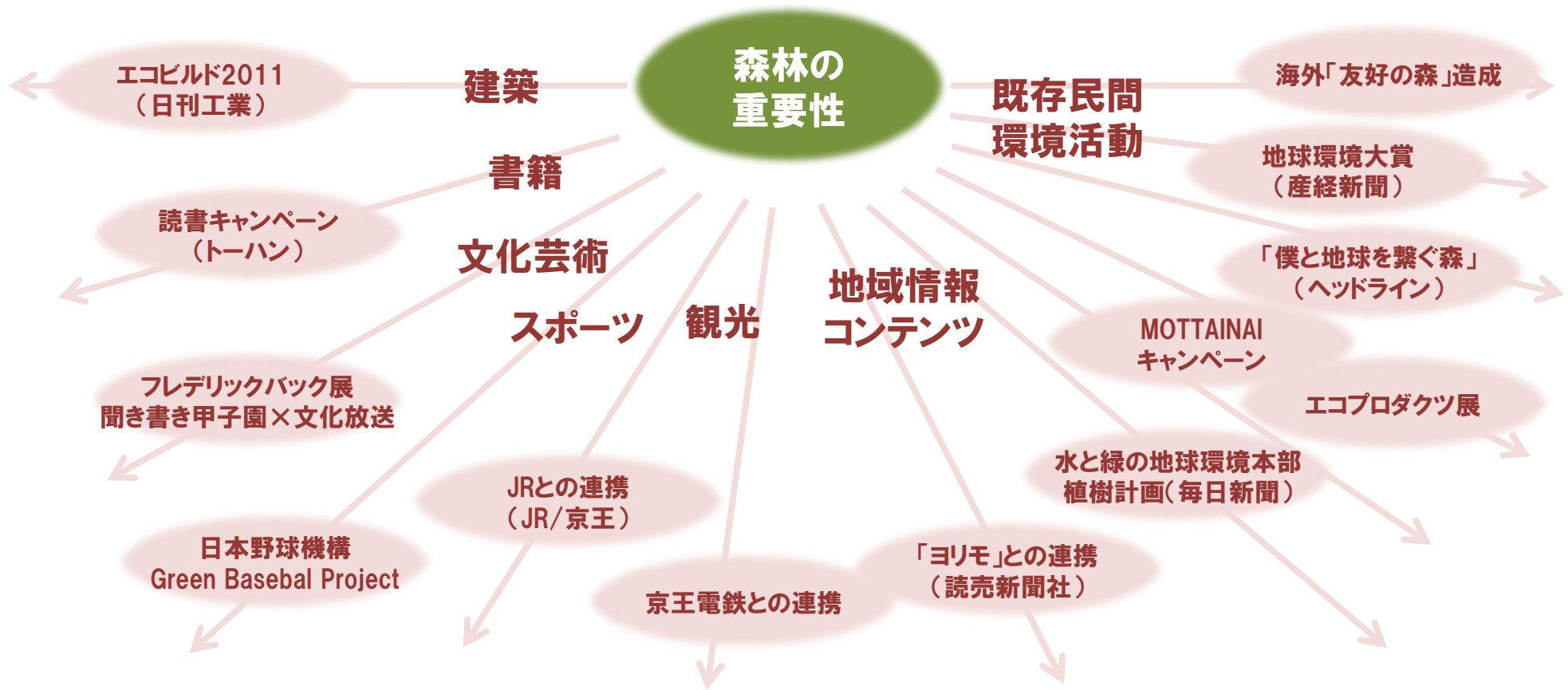
2012年1月11日

国際森林年国内委員会事務局



## さまざまな業界と連携した国際森林年活動の推進

多様な業界と連携して、多様な切り口で、森と関わりかたや、新しいライフスタイルの提案を国民に対して行った。



## 全国の自治体・NPO等の、森林関連事業・イベントをサポート

国際森林年の広報ツールを制作し、各自治体や民間団体などの森林関連事業の展開をサポート。



ポスター



パネル



ステッカー



ピンバッジ



のぼり

協力事業数  
合計約120件

既存の国民運動と連携しつつ、より多くのステークホルダーにご活躍頂くため、  
**産・学・民それぞれに豊かなネットワークを保有した3つの主体が連携し推進**

森林・林業学会・地方への  
豊かなネットワーク

●全国的記念行事

東京農業  
大学

業界団体・林業団体への  
豊かなネットワーク

●既存の国民運動との連携  
●さまざまな業界と連携した  
森林年活動の推進

美しい  
森林づくり  
全国推進会議  
事務局

株式会社  
電通

メディア、民間企業への  
豊かなネットワーク

●新聞社と連携した国際森林年記念会議  
●さまざまな業界と連携した森林年活動の推進



2011・国際森林年

# 電通の取り組みご紹介

2012年1月11日

株式会社 電通

## 全国読書キャンペーン

出版流通・販売会社の(株)トーハンと連携し、延べ1,800軒～2,000軒で約40,000枚の森林年マーク入りの特別帯を巻いた書籍を販売。森林年の告知を実施。紀伊国屋、クレヨンハウス等では、森林年に関わる書籍を集めた書店フェアも実施。全国の図書館に対しても、PRを行い周知を図った。

全国の書店



紀伊国屋新宿南店



紀伊国屋新宿本店



ステッカー、木のしおり、店頭配布

全国図書館向け



ガイドブック  
ブックフェア表紙



## 聞き書き甲子園×フレデリック・バック展×文化放送 フィルムフェスティバル

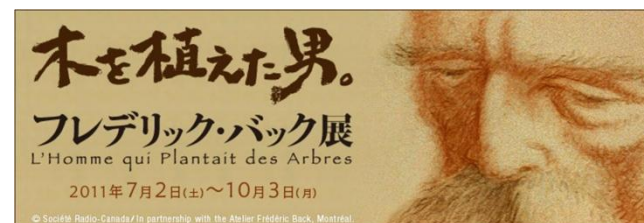
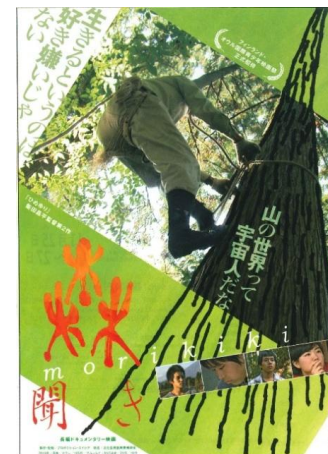
全国の高校生が森や海・川の名手・名人を訪ね、知恵や技術、人生を「聞き書き」する活動「聞き書き甲子園」の10周年記念として、「フレデリック・バック展 木を植えた男。」「文化放送」と連携し、映画「森聞き」を題材に、木や森について語るイベント(公開放送)を実施。



会場風景



番組公開録画中



## 住友林業 一社提供番組「森人」の展開

住友林業提供で、森林の重要性、木の価値を伝える番組を7月よりBS日テレにて展開中。

住友林業 presents RBBTODAY.COM

森を旅してみませんか?

番組概要  
7/24 NEW! 放送内容  
8/2 NEW! ディレクターズ日記  
お知らせ  
森の写真アーカイブ  
ご意見・ご感想

住友林業  
BS日テレ 制作  
BS日テレ 放送

毎週日曜 18:00~18:54 HD/ステレオ

Copyright © BS NIPPON CORPORATION. All Rights Reserved. BS日テレ

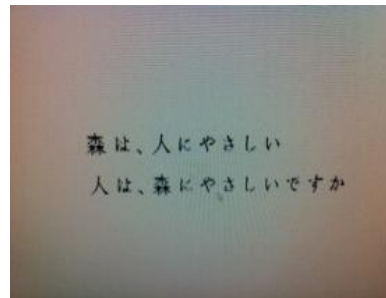


語り  
鶴田 真由

BS日テレ 毎週日曜日18:00~18:54 放送中

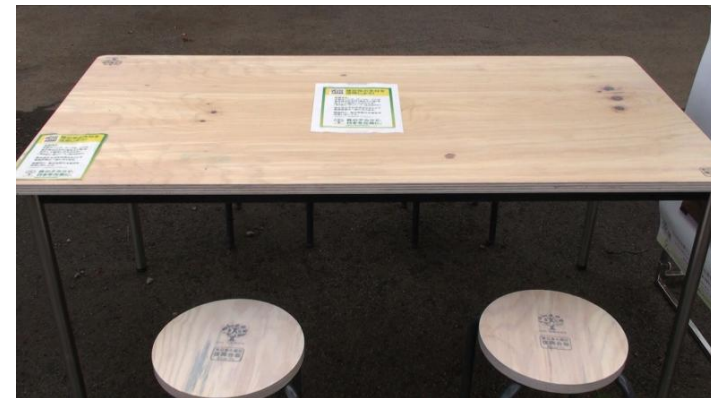
## ACジャパン & NHK 「森林をテーマにしたCM」

ACジャパンとNHKが共同事業として、国際森林年を契機として  
森林をテーマにしたCMを作成。  
タレントが森を歩くことによって、森林の魅力を分かりやすく伝えた。



## 日比谷ライブ & マルシェ実行委員会 「日比谷ライブ & マルシェ2011」

日比谷公園にて行われた東日本大震災被災地支援イベントにて、被災地の間伐材を用いた商品などの紹介、販売を実施。被災地の支援と、木製品の購入機会を両立。会場内のテーブルや椅子なども被災マツなどを用いて展開し、木を通じた被災地支援の可能性を示した。



**前提として、日本国民の森林への好意は極めて高い。**

**ところが、我が国の森林・林業・製材業が置かれている状況への理解はまだ十分ではない。また、木製品の購買・利用や、森林に赴くことなど、具体的なアクションへの意向は高いが実践にうつせていない方々も、多く存在している。**

**コミュニケーションの観点から鑑みると、**

**2011年の国際森林年「森を歩く」を契機に、メディアや企業・団体のご参画を頂きながら国民に森林・林業・製材業の、実情や課題をお伝えしたり国民の具体的なアクションを促進するための、確かな一歩が踏み出された。**

**引き続き、「森のチカラで、日本を元気に。」というメッセージのもと、**

**森林・林業・製材業を起点にした震災復興に寄与し、**

**現在、そして未来の国民全体の共有価値としての森林の重要性の理解を促進し、**

**日本ならではの新しい森林との関わりかたや、新しい森林の価値を、**

**官・民が連携して共創し、**

**森林を中心とした、持続可能な社会の在り方を世界に示すことを目指したい。**